

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公開番号】特開2013-61232(P2013-61232A)

【公開日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-016

【出願番号】特願2011-199635(P2011-199635)

【国際特許分類】

G 01 K 7/00 (2006.01)

【F I】

G 01 K 7/00 3 8 1 G

G 01 K 7/00 3 4 1 P

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月10日(2014.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

温度センサーを有した接触子と、

前記温度センサーの位置における熱収支係数を算出する熱収支係数算出部と、

前記熱収支係数と前記温度センサーの計測温度とに基づいて、前記接触子が接触可能な被測定体の内部温度を算出する温度算出部と、

を備えた温度測定システム。

【請求項2】

前記温度センサーを複数備え、

複数の前記温度センサーは、前記接触子内であって、前記熱収支係数が異なる位置に設けられてなる、

請求項1に記載の温度測定システム。

【請求項3】

前記接触子は、前記被測定体に接触する接触面から当該位置までの熱伝導が異なる位置、前記接触面以外の側面から当該位置までの熱伝導が異なる位置、或いは、前記被測定体に接触する接触面から当該位置までの熱伝導が異なる位置で且つ前記接触面以外の側面から当該位置までの熱伝導が異なる位置、に前記温度センサーを有してなる、

請求項1又は2に記載の温度測定システム。

【請求項4】

前記接触子は、熱伝導が異なる層を有し、前記異なる層に前記温度センサーを有する、

請求項1～3の何れか一項に記載の温度測定システム。

【請求項5】

前記熱収支係数算出部は、前記温度センサーの計測温度の差に基づいて前記熱収支係数を算出する、

請求項1～4の何れか一項に記載の温度測定システム。

【請求項6】

前記接触子は、3以上の前記温度センサーを有し、

前記接触子に設けられた前記温度センサーの中から少なくとも2つの前記温度センサーを選択する選択部を更に備え、

前記熱収支係数算出部は、前記選択部により選択された前記温度センサーの位置における熱収支係数を算出し、

前記温度算出部は、前記熱収支係数と、前記選択部により選択された前記温度センサーの計測温度とに基づいて、前記被測定体の内部温度を算出する、

請求項1～5の何れか一項に記載の温度測定システム。

#### 【請求項7】

前記被測定体は人体であり、

前記接触子は、頭部、首部及び胴体部の何れかの部位に接触され、

前記熱収支係数算出部は、前記温度センサーの計測温度を用いて、前記熱収支係数を算出し、

前記温度算出部は、前記熱収支係数と、前記温度センサーの計測温度とに基づいて、前記部位の内部温度を算出する、

請求項1～6の何れか一項に記載の温度測定システム。

#### 【請求項8】

温度センサーを備えた接触子を用いて被測定体の温度を算出する温度算出方法であって、

前記温度センサーの位置における熱収支係数を算出することと、

前記熱収支係数と、前記温度センサーの計測温度とに基づいて、前記被測定体の内部温度を算出することと、

を含む温度算出方法。